

## 水稲育苗ハウスを利用したブドウ栽培導入による 収益性向上について

### 1 目的

水稲育苗ハウスでのブドウ栽培が会津地方でも可能であることを実証し、水稲生産者のブドウ栽培での経営複合化による所得の向上を推進する。

### 2 実証ほの設置及び導入技術

- (1) 設置場所 会津若松市河東町 水稲育苗ハウス
- (2) 実証品目・面積 ブドウ・約5a (間口5.4m×長さ40m、2棟)
- (3) 実証ほ設置期間 令和3年4月1日 ~ 令和3年12月24日
- (4) 導入技術(システム・先進技術等)・品種(用途)・方法等  
導入技術・方法：水稲育苗後のハウスを利用したブドウ栽培  
品種：シャインマスカット等
- (5) 水稲育苗方式 プール育苗 (4月10日～5月26日)

### 3 実証結果及び考察

定植3年目となる水稲育苗ハウスでのブドウの収穫量は、シャインマスカットで5.2kg/10a (推計)であった。

BKシードレスの収穫量は18.8kg/樹 (推計)で、他品種に比べ多収であったことから、早期成園化しやすい品種として有望とみられた。また、全品種において品質のばらつきが大きく、原因として若木であるためまだ樹勢が安定していないことが考えられた。

### 4 今後の計画

次年度は若木における果実品質の向上及び省力化に向けた生産技術を検討する。



写真 実証ほでの検討会風景 (左：6月、右：9月)